

津田塾大学創立120周年記念事業

「津田梅子の小袖修復プロジェクト」総合報告展

～心をつなぐ手仕事～

会期 2023年
11月13日 Mon. — 12月15日 Fri.

会場 津田塾大学小平キャンパス 津田梅子記念交流館
山根記念ギャラリー

※小袖展示：2023年12月3日(日)～8日(金)
/ 津田梅子資料室

ギャラリートークのご案内

- 2023年11月14日(火) 13:30 - 14:30
- 津田梅子記念交流館岡島記念チャペル

「～心をつなぐ手仕事～」

女子美術大学大崎綾子教授をお迎えして」

聞き手：津田塾大学学長 高橋裕子

参加無料



撮影：津田梅子資料室



「津田梅子小袖修復実績報告書」より転載

1871(明治4)年12月、日本初の女子留学生の一人として、満6歳の津田梅子は岩倉使節団とともに、横浜からアメリカへ向けて旅立ちました。この時に着ていた朱色の小袖が、津田梅子資料室に保管されています。およそ200年前に作られた華やかな小袖は、津田梅子関連資料の中でもとくに人気があり、何度も展示・取材に登場し、人々の目を楽しませてきましたが、徐々に退色が進み、刺繍や縫い目のホツレも目立つようになってしまったため、創立120周年を機に本格的な修復を行うことになりました。

創立120周年記念事業「津田梅子の小袖修復プロジェクト」の実施に当たっては、「女子美術大学染織文化資源研究所」の全面的な協力を得ることができました。

本学と同年(1900年)の創立である女子美術大学は日本刺繍の技術・研究分野において定評があり、さらに染織文化資源研究所はその技術を活かして多くの染織文化財の修復を手掛けています。同研究所による保存処理・修復作業は2022年度にすべての工程が無事に完了し、小袖は愛らしい姿を取り戻すことができました。

総合報告展「心をつなぐ手仕事」では、修復プロジェクトの始動から完了、そしてその後日談までを紹介します。

そして11月14日(火)のギャラリートークでは修復の陣頭指揮を担ってくださった、染織文化資源研究所代表 大崎綾子先生をお迎えし、本プロジェクトに対するお気持ちや修復のお話をお伺いします。

- 〔開館時間〕 9:00-16:30
- 〔入館料〕 無料
- 〔閉館日〕 土、日、祝日 ※12月3日(日)は開館(10:00~16:30)
- 〔主催〕 津田塾大学(創立120周年記念事業) / 津田梅子資料室
- 〔会場〕 津田塾大学小平キャンパス
津田梅子記念交流館 山根記念ギャラリー
〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1
- 〔アクセス〕 御来訪の際は公共交通機関をご利用ください。
・西武国分寺線「鷹の台」駅より徒歩約8分
・JR武蔵野線「新小平」駅より徒歩約18分
- 〔お問合せ〕 津田塾大学経営企画課
TEL: 042-342-5146 E-mail: senryaku@tsuda.ac.jp
津田梅子資料室
TEL: 042-342-5219 E-mail: archives@tsuda.ac.jp

津田塾大学創立120周年記念事業

新札発行記念シンポジウム

主催：津田塾大学

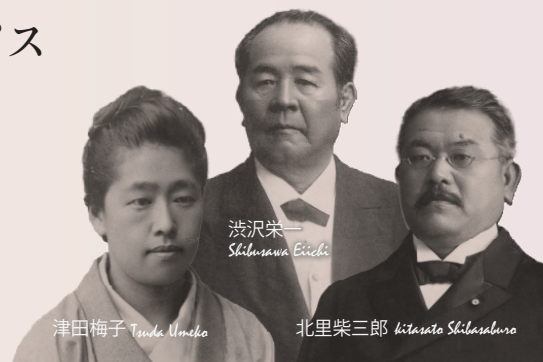
参加無料

12/3
2023 | sun |
13:30-16:10

会場 津田塾大学 小平キャンパス
特別教室

詳細はこちらから

津田塾大学公式 Web サイト
「新札発行記念シンポジウム」
<https://www.tsuda.ac.jp/event/2023/1203.html>



津田梅子 Tsuda Umeko

北里柴三郎 Kitasato Shinsaburo